

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会日本代表選手団
候補選手・候補スタッフ推薦基準

公益財団法人日本障害者スキー連盟

I. 日本代表選手団への推薦方針

(1) 選手

- ① 日本代表選手団は、日本国民の代表として礼儀と規律を遵守し、公平性・誠実性・協調性に基づき行動し、全ての国民の期待に応え得る品格を有するとともに、国際社会における友好と親善に寄与出来る選手・役員をもって編成する。
- ② 代表選手は、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会(以降：JPC)の通知による「日本代表選手団編成方針及び選手・スタッフ選考基準」に基づき、本大会メダル獲得または入賞の可能性のある選手を推薦する。入賞の可能性は、根拠となる客観的な資料（記録、成績、世界ランキング等）をもとに判断する。
- ③ 根拠とする競技成績は、2024/25 シーズンの世界ランキングおよび選考委員会が指定する基準日における 2025/26 シーズンの世界ランキングおよび選考委員会が指定する国際大会での成績とする。
- ④ 代表選手は、心身ともに万全のコンディションであることを条件とする。特に、怪我などから復帰して間もない選手は、医科学情報委員会の確認を必須条件とする。
- ⑤ 上記方針を基に、順位をつけて JPC に推薦をする。

(2) 役員

- ① 日本障害者スキー連盟の強化スタッフとして登録している者。
- ② 競技会内外における選手へのサポートに加え、パラリンピック日本選手団に必要な役割を適切に果たすチームスタッフのバランスをとりながら編成する。
- ③ 編成にあたっては選手の男女構成や人数を考慮する。女子選手を派遣予定の際は、女性スタッフ 1 名以上を必須とする。
- ④ 選手の障がいの種類・程度に配慮する。
- ⑤ スタッフ枠数に制約がある中でも、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう自らの役割を適切に果たすことができる者
- ⑥ パラリンピックムーブメントの推進に寄与するとともに、社会規範を遵守し、公平性・誠実性・協調性に基づき行動できる者
- ⑦ 健康面において派遣に支障がないと競技団体が認めた者。推薦されたスタッフは、健康診断書の写しを当連盟に提出し、医科学情報委員会が、派遣に支障がない健康状態であるか確認する。健康診断に必要な費用は、原則として個人負担とする。
- ⑧ 上記方針を基に、順位をつけて JPC に推薦をする。

2. 対象となる選手

下記 1～4 を全て満たしていること。

- (1) 国際パラリンピック委員会が定める「MILANO CORTINA 2026 PARALYMPIC WINTER GAMES QUALIFICATION REGULATIONS」の出場資格を満たしていること。
- (2) 国際競技クラスを割り当てられ、競技クラスステータスが「確定済み：C クラス」、または再評価の日程が 2025/26 シーズン以降に設定された「再評価：R クラス」であること。
- (3) 2025 年度本連盟登録会員であり、2026 年度も会員として登録する予定であること。
- (4) 2025 年度 強化指定選手、次世代パラアスリート選手であること。

3. FIS から示される出場枠数に対する使用枠数の考え方

割り当てられた出場枠数の範囲内で、8 位入賞の可能性を見込める選手数をその時点の日本選手の総合成績を基に検討し、使用枠として回答する。入賞見込数が枠数を下回る場合は、枠数を返上する。(2025 年 7 月 1 日までに JPC を通じて回答)。

4. 競技別選手推薦基準

添付の別紙を参照

5. JPC への候補者リストの提出について

出場の可能性がある全選手および派遣可能性のある全スタッフを申請する。申請された選手およびスタッフの中から、日本代表選手団が選考される。

6. 選考手続き

当連盟強化本部内に設置するミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会日本代表選手団推薦者選考委員会(以降：選考委員会)が選考し、当連盟運営会議での審議および理事会での承認を経て、JPC に推薦する。

7. 選考委員会

- (1) 強化本部内に設置する。
- (2) 構成員は以下とする。

4 競技共通：強化本部長、強化副本部長、各競技委員長、管理本部長

*各競技ヘッドコーチはオブザーバーとして参加することができる

8. 候補選手選考の手順

- (1) 選考委員会は、推薦方針に基づき、各競技の使用枠数を決定し、その結果を運営会議および理事会に報告、承認を受ける。
- (2) 日本障害者スキー連盟は、JPC へ使用枠数を回答する。
- (3) 各委員長は、候補者リストを推薦の根拠とする資料（大会参加資格、公式ランキング、記

録など)を添え、選考委員会に提出する。

(4) 選考委員会は、選考規定に基づき候補者を審査し、その結果を運営会議および理事会に報告し、承認を受ける。

(5) 日本障害者スキー連盟は、理事会で決定した推薦候補者名簿を公表する。

※なお、日本代表選手・スタッフの決定および公表は JPC によって行われる。

9. 選考日程

第1次選考：2025年 7月中旬

第2次選考：2025年12月下旬

第3次選考：2026年 1月下旬

バイパルタイト招待枠推薦：2026年1月12日～2月13日

競技によっては、第2次、第3次、バイパルタイト招待枠推薦を行わないことがある。

10. バイパルタイト招待枠推薦および未使用出場枠の再配分について

(1) バイパルタイト招待枠について

一定の出場枠の割り当てについて、「バイパルタイト委員会招待割り当て方式」が採用される。

招待枠の付与は IPC の裁量に委ねられ、通常は以下の原則に基づいて割り当てられる。

- ・特殊な状況により、正式な選考機会を得ることができなかったトップ選手の参加を認める場合
- ・特殊なサポートを必要とする選手の代表として参加を認める場合
- ・メダル対象種目を成立させるために、十分な人数の代表選手を確保する場合、および
- ・男女それぞれから十分な人数の代表者を確保する場合。

(2) 選手の推薦について

JPC 選手選考基準に基づき、原則として入賞の可能性のある選手を推薦するが、上記の招待枠の考え方にに基づき、JPC と協議を行い、決定する。

(3) スケジュールおよび申請手続き

NPC は、バイパルタイト招待枠の候補選手を、2026年1月12日から2月13日までの期間中に、IPC に提案することができる。候補選手は出場要件に関する一般規定および各競技の出場要件を満たしている必要がある。バイパルタイトに関するすべての決定は最終的なものであり、抗議や上訴は認められない。

11. 不服申し立て

(1) 選考対象選手は、選考が基準の手続きに則って行われていないこと、または選考過程で情実が行われた場合に、不服申し立てを行うことができる。

(2) 選考結果に対する不服があるときは、公表後7日以内に当連盟事務局まで電子メールにて、申し立てを通知する。

(3) 連盟は、申し立てがあった場合、不服審査委員会を設置し、その申立てを審査する。不服審査委員は会長が任命する。委員会は選手等の選考基準が本連盟の代表選手推薦基本方針

に適合しているか審議するとともに、選考が事前に開示された選考手続きに沿って行われたかどうか検証し、理事会に報告しなければならない。

- (4) また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（以下、JSAA）に仲裁申立をすることも出来る。その場合、本連盟不服申し立ては終了し、JSAA の手続きによる。

12. その他

- ・国際パラリンピック委員会(IPC)が Qualification Criteria を変更・修正した場合は必要に応じて本基準を変更する場合がある。
- ・この推薦基準に定めのない事項が生じた場合は、選考委員会で審議の上、理事会で決定する。

別紙 競技別選手推薦基準

アルペンスキー

【第1次選考】

1. 2024/25 シーズンの世界選手権及びワールドカップにおいて、1 度でも下記の成績を収めた選手。

(1) メダル獲得 (1～3 位の成績)

(2) 世界選手権 8 位以内、ワールドカップ 6 位以内の成績

＊推薦順位は (1) を優先とする

＊上記の成績が最下位であった場合は対象とならない

【第2次選考】

2. 2025 年 12 月までのワールドカップ及び 12 月最終に更新される FIS ポイントランキングにおいて、以下の成績を収めた選手。

(1) 2025-26 シーズン 12 月までのワールドカップにおいて 8 位以内の成績

推薦順位：順位が高い順番に推薦。同率の場合は 8 位以内の回数が多い選手を優先

同率で 2 番目の成績が 8 位以下の場合は、2 番目の成績順位の高い選手を優先

(2) 12 月最終に更新される FIS ポイントランキング男子 16 位、女子 10 位以内 (※1)

推薦順位：同率順位の選手が複数いた場合、それぞれ種目の FIS ポイントで比較し、ポイントが少ない選手を優先

＊推薦順位は (1) > (2) とする

＊上記の成績が最下位であった場合は対象とならない

【第3次選考】

3. 2026 年 1 月までのワールドカップ及び 1 月最終に更新される FIS ポイントランキングにおいて、以下の成績を収めた選手。

(1) 2025-26 シーズン 1 月までのワールドカップにおいて 8 位以内の成績

推薦順位：順位が高い順番に推薦。同率の場合は 8 位以内の回数が多い選手を優先

同率で 2 番目の成績が 8 位以下の場合は、2 番目の成績順位の高い選手を優先

(2) 1 月最終に更新される FIS ポイントランキング男子 16 位、女子 10 位以内

推薦順位：同率順位の選手が複数いた場合、それぞれ種目の FIS ポイントで比較し、ポイントが少ない選手を優先

(3) 1 月最終に更新される FIS ポイントにおいて男子 95 点以内、女子 135 点以内 (※2)

推薦順位：ポイントが少ない選手を優先

＊推薦順位は (1) > (2) > (3) とする

＊上記の成績が最下位であった場合は対象とならない

＊上記によっても、選出できない場合は、出場選手枠（スロット）を返上する。

【バイパルタイト招待枠推薦】

4. 第2次・3次選考と併せて、本推薦基準 10. に基づいて推薦する。

(別記：派遣基準ポイント設定について)

(※1) FIS ポイントランキングの設定について

JPC「日本選手団編成方針の選手選考基準」のメダル獲得又は8位入賞の可能性（根拠）を示すにあたり、2022 北京大会において8位以内の選手を抜粋し、2021 年 12 月の FIS ポイントとランキングを調査。

4 種目 (GS, SL, SG, DH) の平均ランキングをそれぞれのカテゴリーで抽出した。

男子立位：15.75 位

男子座位：16.5 位

女子立位：11.25 位

女子座位：9.25 位

上記を男子と女子で平均値を出し、男子 16 位以内、女子 10 位以内と設定する。

(※2) FIS ポイントの設定について

※1 で算出した、男子 16 位、女子 10 位を最新のポイントリスト (2025/5/5List) におけるポイント进行调查。

4 種目 (GS, SL, SG, DH) のポイントをそれぞれのカテゴリーで抽出した。

	男子立位	男子座位	女子立位	女子座位
GS	64.24	84.96	104.67	156.7
SL	79.82	61.71	132.84	144.09
SG	45.38	111.11	76.82	176.72
DH	66.37	220.51	—	—
平均値	91.76		131.97	

上記の平均ポイントを切り上げて、男子 95 点以内、女子 135 点以内と設定する。

別紙 競技別選手推薦基準

ノルディックスキー（クロスカントリー/バイアスロン）

【第1次選考】

1. 2024-25 シーズンの世界選手権大会及びワールドカップにおいて、下記の成績を1度でも収めた選手

- (1) メダル獲得（1～3位）
- (2) 世界選手権8位以内、ワールドカップ6位以内の成績

*推薦順位は、上位から、世界選手権1位>2位>3位>ワールドカップ1位>2位>3位>世界選手権4位>5位>6位>7位>8位>ワールドカップ4位>5位>6位とする。同順位の場合は次の成績を比較して順位を決める。順位が決まるまで繰り返す。

【第2次選考】

2. 2025年12月ワールドカップ（及びコンチネンタルカップ）カナダ大会の指定レースにおいて選考委員会が定める派遣基準ポイントをクリアした選手 <派遣基準ポイント設定理由：別記参照※>

- (1) 平均ポイントで50ポイントをクリアした選手
- (2) 平均ポイントで100ポイントをクリアした選手
- (3) 平均ポイントで150ポイントをクリアした選手
- (4) 平均ポイントで240ポイントをクリアして、パラリンピック入賞が1種目でも見込める選手

*推薦順位は、(1)>(2)>(3)>(4)とする。

*上記の同項目で選出された選手の推薦順位は、下記内容を比較・検討して順位を決める。

①平均ポイントの大小 ②最高レースポイントからの入賞可能性 ③リレーメンバー一員としての戦力分析 ④BT種目での入賞の可能性 ⑤その他（12月選考大会までに明示する）

*【第2次選考】までで、選出した選手数が出場枠数を満たした場合は【第3次選考】は行わない。

*但し、選出した選手数が出場枠数を超え、超えた項目で①～⑤の内容が拮抗し、推薦順位が明確に付けられない場合には、当該選手による最終選考【第3次選考】を実施して決定する。

【第3次選考】

3. 【第2次選考】までで推薦選手数が出場枠数に満たない場合、及び、最終選考が必要となった場合、下記のいずれかの大会に選考レースを指定して、その結果により選出する。

・ワールドカップ：ドイツ大会（1月） ・ワールドカップ：オーストリア大会（1月）

*最終選考レースを実施する場合には、当該選手に選考基準を事前に明示する。

*上記によっても、選出できない場合は、出場選手枠（スロット）を返上する。

【バイパルタイト招待枠推薦】

4. 第2次・3次選考と併せて、本推薦基準10.に基づいて推薦する。

<※別記：派遣基準ポイント設定について>

・選手の FIS レースでの競技力を示す唯一の国際指標となるレースポイント（CC 競技）を根拠とした。
レースポイントは、優勝者からのタイム差により算出され、ポイントが小さいほど優勝タイムに近い、速い選手という評価となる（このレースポイントから算出される FIS ポイント 240 以下の選手数が 2026PWG 出場国枠数の根拠にもなっている）。

・『JPC 日本選手団編成方針の選手選考基準』のメダル・8 位入賞の可能性（根拠）を、この FIS ポイントをベースに「どのぐらいのポイントを獲得すれば、メダルを獲得できる・入賞できる選手と言えるか」を算出して、派遣基準ポイントとして設定した。

・派遣基準ポイントの算出と設定

2024-25 ワールドカップ以上の FIS ポイント・レースポイントを活用して、メダル獲得＝3 位選手、入賞＝8 位選手のポイントから下記のように算出して、メダル及び 8 位入賞の可能性を示す基準とした。

- ・50 ポイント以内：メダル濃厚の選手
- ・100 ポイント以内：入賞濃厚の選手
- ・150 ポイント以内：入賞の可能性のある選手

2026パラリンピック派遣基準・強化指定選手基準等でキーポイントとなる数値

「どのぐらいのポイントを獲得できれば（基準とすれば）、メダル・入賞の可能性はあるか」

選手競技力＝FISレースポイントから下記①②を算出した。パラ派遣相当の競技力（メダル・入賞の可能性）として、右の4つの数値が今後さまざまな基準のキーポイントとなる。

	A: 獲得できる	B: 可能性ある	C: パラ出場
メダル	50.00	70.00	
入賞	100.00	150.00	240.00

* 240は、パラリンピック出場資格獲得に必要なポイント

①順位を基準に算出

2024-25シーズン世界選手権・WCの全10レースの3位と8位のレースポイント平均

WCステイタス以上のレース結果から	座位 男子	立位 男子	視覚 男子	座位 女子	立位 女子	視覚 女子	男子 平均	女子 平均	全選手 平均	
3位のレースポイント平均	18.78	38.11	37.27	24.74	75.31	69.69	31.39	56.58	43.98	メダルA
8位のレースポイント平均	58.80	72.70	86.93	134.19	144.01	175.96	72.81	151.39	112.10	入賞A

②選手を基準に算出

2024-25シーズン世界選手権・WCで、メダルを獲得した選手・入賞した選手のFISポイント

WCステイタス以上のレース結果から	座位 男子	立位 男子	視覚 男子	座位 女子	立位 女子	視覚 女子	男子 平均	女子 平均	全選手 平均	
メダル獲得全選手のFISポイント平均	16.35	31.41	34.18	24.79	29.35	28.01	27.31	29.35	27.35	メダルA
メダル獲得した選手で、最も下位ランク選手のFISポイント	46.14	61.95	76.83	82.49	68.77	101.92	61.64	68.77	73.02	メダルB
入賞した全選手のFISポイント平均	51.26	85.75	69.95	109.59	90.71	152.48	68.99	90.71	93.29	入賞A
入賞した選手で、最も下位ランク選手のFISポイント	78.11	148.93	177.51	133.95	149.15	188.29	134.85	149.15	145.99	入賞B

別紙 競技別選手推薦基準

スノーボード

【第1次選考】

1. 2024-25 シーズンの世界選手権大会及び 2024-25 に開催されたワールドカップにおいて、下記の成績を一度でも収めた選手

(1) 表彰台獲得(1～3位の成績)

(2) 世界選手権またはワールドカップにて8位以内の成績

※推薦順位は世界選手権1位>2位>3位>ワールドカップ1位>2位>3位>世界選手権4位>5位>6位>7位>8位>ワールドカップ4位>5位>6位>7位>8位>とする。

*【第1次選考】までで、選出した選手数が出場枠数を満たした場合は【第2次選考】【第3次選考】は行わない。

【第2次選考】

2. 2025 年 12 月開催までのワールドカップにおいて、下記の成績を1度でも収めた選手

(1) 表彰台(1～3位の成績)

(2) 8位以内の成績

※推薦順位は1位>2位>3位>4位>5位>6位>7位>8位とする。タイブレイクの場合は、デッドライン直近のワールドカップの成績から過去に遡り、2つのベストリザルトから採用し、選考を行う。

例)2025 年 12 月 20 日がデッドライン直近の競技会であった場合

①2025 年 12 月 20 日の成績

②その1つ前に開催された WC の成績

①と②で成績の良い選手を選考する

*【第2次選考】までで、選出した選手数が出場枠数を満たした場合は【第3次選考】は行わない。

*但し、選出した選手数が出場枠数を超え、上記推薦順位が明確に付けられない場合には、当該選手による最終選考【第3次選考】を実施して決定する。

【第3次選考】

3. 2026 年 1 月開催までのワールドカップにおいて、下記の成績を1度でも収めた選手

(1) 表彰台(1～3位の成績)

(2) 8位以内の成績

※推薦順位は1位>2位>3位>4位>5位>6位>7位>8位とする。タイブレイクの場合は、デッドライン直近のワールドカップの成績から過去に遡り、2つのベストリザルトから採用し、選考を行う。

例)2026 年 1 月 20 日がデッドライン直近の競技会であった場合

①2026 年 1 月 20 日の成績

②その1つ前に開催された WC の成績

①と②で成績の良い選手を選考する

【バイパルタイト招待枠推薦】

4. 第2次・3次選考と併せて、本推薦基準 10. に基づいて推薦する。

(以上)